

地域連携通信

vol. 2

2025
5月発行Jichi Medical University
Saitama Medical Center

副センター長のご挨拶



副センター長 守谷 俊

地域の先生方とともに築くより良い医療連携 ～自治医大さいたま医療センターの取り組み～

当センターは、628床の急性期医療を提供する基幹病院として、地域の病院、診療所やクリニックの先生方の協力をいただきながら、多様化・高度化する医療ニーズに対して総合診療体制から専門診療に及ぶ様々な医療を正確かつ確実に届けることを大切にしています。地域の先生方が身近な「かかりつけ医」として支えてくださるからこそ、私たちは自身の病院の役割が果たせます。地域医療の中心にいる先生方と、より良い医療連携を築いていくことが、私たちの願いです。

1. 患者様のスムーズな紹介・受診を支援

患者様の病状に応じて、速やかに適切な診療を受けられるよう、紹介診療がスムーズに予約手続きができるように心掛けております。救急対応も24時間体制で行い、緊急性の高い患者様を迅速に受け入れる体制を整えています。令和6年度に紹介患者数は25,728名に及びました。先生方からのご紹介を大切にし、連携を促進いたします。

2. 診療情報の円滑な共有

紹介いただいた患者様の診療が終了した後、診療結果や治療方針をできるだけ早く先生方へご報告いたします。診断や治療方針についてのご相談にも積極的に対応し、地域の先生方と密に連携を取ることで、患者様が安心して継続的な治療を受けられる環境を整えてまいります。

3. 研修会や勉強会を通じた情報交換

最新の医療情報を共有し、より良い診療につなげるために、定期的な勉強会や症例検討会を開催しています。勉強会は多種多様で、令和6年度は14回の開催で参加者はのべ658名に及びました。先生方とともに学び合い、診療の質を向上させる機会を大切にしています。また、特定の疾患や治療法についてのご相談にも対応できるようにしてまいります。

4. 退院後のケアを支える地域包括ケア

急性期治療が終わった患者様が、地域で安心して生活を続けられるよう、退院後のケアにも力を入れています。先生方とともに訪問看護、介護事業者と情報を共有しながら、患者様一人ひとりに合ったフォローアップを行い、生活の質の向上を目指します。令和6年度は、新規訪問看護依頼数396件。介護支援等連携指導料985件でした。センターでの治療後、地域社会ネットワークにお戻しすることにも力を入れております。

5. 顔の見える関係を大切に

医療連携の基本は、お互いをよく知ることです。日頃の診療で感じる疑問や不安、どんな些細なことでも構いませので、お気軽にご相談ください。今後も信頼関係を深めながら、患者様にとって最適な医療を提供できるよう協力してまいります。地域医療の中心にいるのは先生方です。私たちはその支えとなり、共に歩むパートナーでありたいと考えています。これからもどうぞよろしくお願いいたします！

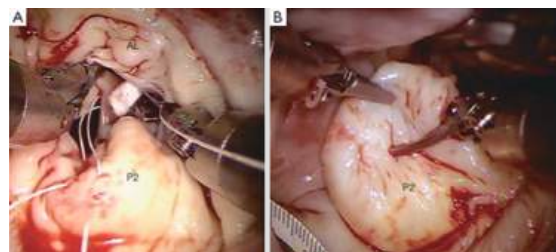
心臓血管外科



心臓血管外科 科長 山口 敦司

自治医科大学附属さいたま医療センター心臓血管外科は、循環器科と手を携えて専門性の高い先進的なチーム診療を行ない、さいたま市のみならず埼玉県全域の循環器診療の発展に尽力して参りました。2024年の当センターにおける心臓大血管手術件数は約450件であり、腹部血管・末梢血管を含むと約800件の手術に携わっており、この数年間は全国でも有数のハイボリュームセンターの地位を維持しております。患者様にやさしい低侵襲治療である経皮的動脈弁留置術（TAVI）、小切開心臓手術（MICS）における実績を挙げるとともに、2024年からはロボット心臓手術（写真）を導入し、患者様のニーズに合わせた治療の提供を心がけ、安心して手術を受けていただくことを最大の目標としております。

心臓血管外科では、急性大動脈解離・大動脈瘤破裂などの急性大動脈症候群や感染性心内膜炎・急性心筋梗塞合併症などの緊急手術も積極的に行っております。これまでの経験で培ったノウハウを蓄積し、心臓血管外科のみならず救急部・麻酔科・手術室スタッフなどセンター内各部署と連携し、365日・24時間いつでも緊急対応が可能な状態でスタンバイしております。近隣の病院・診療所の先生方とは緊密な連携を取りつつ、あらゆる循環器緊急疾患に対し、お断りすることなく対応していく所存です。



外来診療 ①外来予約コールセンター ☎ 048-788-2788

緊急時対応 ②心臓血管外科医師直通 ☎ 048-782-8173

③さいたま医療センター代表 ☎ 048-647-2111

栄養部



栄養部 部長 大河原 普

栄養部は、腎臓内科 大河原 晋教授の下、12名の管理栄養士が所属しており、治療の一環となる栄養と食事から患者さんを支援しています。慢性疾患を有する患者さんには食事療法の実践に寄り添い、低栄養や化学療法などで食欲不振がある患者さんには、どんな食事が合っているかを相談しながら伴走したいと思っています。

患者さんが入院すると、初めに医師や看護師とともに栄養状態のスクリーニングを行い、その結果を基にそれぞれの病棟担当管理栄養士が中心となって、栄養管理のチーム医療を展開していきます。当医療センターの特徴として、特別食の提供割合、栄養食事指導件数の多いことが挙げられ、さらに医療連携

の一環として、退院後の医療機関に栄養情報の提供を行うようにしています。

入院食は給食委託職員とチームとなり、安全でより良い治療食、楽しみとなるような食事を目指しています。このたび2025年2月に新厨房が竣工しました。最新の調理機器を備え、きれいで働きやすい環境が整いました。これからも患者さんの身体の礎となる栄養管理と食事を提供してまいります。



救急車の購入にむけて
クラウドファンディングに挑戦します！

高度急性期医療の、さらなる体制強化へ

整備予定救急車 車両イメージ



皆様のご協力とご寄付をよろしくお願いいたします。

寄付募集期間 6月公開～9月終了予定

目標金額 **3,600万円**

詳細は後日
センター公式HP等で改めて
お知らせいたします。

2025年5月19日 から
AI電話 での受付が始まります！

診察予約、予約変更、キャンセル、予約内容確認

050-1725-4896

※受付後、担当者から折り返しご連絡します

受付時間

月～金 9:00～16:00
土日祝・年末年始を除く

注意点

- ・当センターより休診日を除く2日以内に電話・SMSでご連絡します
- ・当日の予約や診療内容に関しては、代表番号までお問い合わせ下さい

※AI電話は患者さん向けの番号となります。

緊急受診や転院相談等は従来どおり以下の番号にお願いします。

平日 8時30分から17時15分 : 地域医療連携室 048-648-5167
夜間 17時15分から8時30分及び休日: 代表番号 048-647-2111



自治医科大学附属さいたま医療センター

〒330-8503 さいたま市大宮区天沼町1-847 TEL.048-647-2111(代) FAX.048-648-5166 <https://www.jichi.ac.jp/center>